

令和4年度 一般社団法人 埼玉県校外教育協会委嘱  
校外教育研究紀要

研究主題

地域の教育力を生かした学習活動による

地元愛に満ちた生徒の育成



久喜市立栗橋東中学校

埼玉県久喜市栗橋1425

TEL 0480-52-0436

FAX 0480-52-0445

E-mail [kurihigashi-j@kuki-city.ed.jp](mailto:kurihigashi-j@kuki-city.ed.jp)



## 1 はじめに

久喜市は、平成22年に久喜市、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町の1市3町の合併により、人口15万人を超える県東部の都市となりました。市内には久喜菖蒲公園など豊かな自然環境に恵まれ、また、鷲宮神社や菖蒲の天王山塚古墳、栗橋関所など歴史的な文化財も多く残されています。さらに、東武伊勢崎線やJR宇都宮線の乗り入れもあり、都心へのアクセスも良いところです。また、久喜市を横断する圏央道の開通により交通の要として、縦だけでなく横のつながりもよくなり、文化田園都市として発展してきております。

本校は、昭和22年の青年学校から始まり、昭和32年の町村合併を機に翌年の33年に校名を栗橋東中学校と改めました。昭和54年に現在の場所に移転し、令和元年に開校70周年を迎え、現在73年目を迎えています。通常学級12学級、特別支援学級2学級を併せて14学級、全校生徒432名の中規模学校であります。

## 2 研究の概要

### (1) 研究テーマ及びテーマ選定理由

テーマ：地域の教育力を生かした学習活動による地元愛に満ちた生徒の育成

選定理由：コロナ禍もあり様々な活動が制限され、これまで実践してきた学習活動が行えず、地域の方々と接する機会も減少している。ICT機器を活用するなど実施方法を工夫し、地域の教育力を活用した学習を取り入れ、教師以外の視点からの学びを充実させたい。そこで、地域の方と触れ合う学習活動を通して、コミュニケーション能力を育成するとともに地元を愛する生徒を育成したいと考え、テーマを設定した。

### (2) 研究計画

#### ○研究のねらい

地域の教育力（学校・関係機関）を生かし、学習活動の充実を図るとともに、地域の方々との交流の機会を確保し、コミュニケーション能力の向上を図る。

#### ○スケジュール

- 4月 生徒の実態調査の実施→体験活動にフィードバックする。
- 5月 久喜市の高齢者について：高齢者福祉課講師
- 6月 着付け体験：ハクピ京都きもの学院講師 妊婦体験：子育て支援サークルハッピー講師
- 7月 地元高校（出前授業） 地域夏祭りボランティア参加（中止）
- 8月 小学校サマースクールボランティア（中止） 異世代交流「朝のラジオ体操」参加
- 9月 地元小学校運動会運営ボランティア（規模縮小依頼なし） 職場体験：地元企業
- 10月 地元小学校お祭りボランティア（規模縮小依頼なし） 親子除草：PTA 保護者  
働く人々に学ぶ会：地域の方々講師（見送り） 人権フェスタ in 栗橋 運営ボランティア
- 11月 保育実習：地元保育園(中止) 地元そば祭りボランティア(中止)  
自治会グランドゴルフ大会参加
- 12月 学校ファーム収穫を祝う会：学校応援団(中止) 栗橋関所マラソンボランティア
- 1月 かるた大会運営ボランティア(中止) もちつき大会運営ボランティア(中止)
- 2月 進路学習会：学区小学校へ（中3説明者として派遣）  
生徒の意識調査（学校評価）研究成果の確認、とりまとめ
- 3月 静桜植樹ボランティア 研究紀要の作成

#### ○期待される成果

- ・地域の催し物への参加が積極的になり、コミュニケーション能力の向上と地元を愛する心の育成につながる。
- ・異世代との交流が多くなり、多様な価値観に触れるとともに、他者を理解し思いやる心の育成が図ることができると期待される。更に、地域コミュニティの活性化につながる。

### 3 具体的な取組

#### (1) 技術・家庭科（家庭分野）

- ① 久喜市役所高齢者福祉課の方を講師としてお招きし、高齢者の身体の特徴を踏まえた関わり方や接し方、家庭や高齢者等の地域の人々との関わりについて理解することを目的に授業を実施した。授業の中では、高齢者のイメージとして「身体が不自由でサポートが必要な人が多い」という印象があるかもしれないが、実際には健康で元気な人も多く、市のために清掃作業や様々な活動をされている方も多くいる等のお話をいただいた。
- ② ハクピ京都きもの学院の方を講師とし、浴衣の着付け体験を実施した。和服は日本の伝統的な衣服であるが、現代社会において自分自身で着脱できる人は少ない。授業で体験することで身近なものとして捉え、お祭りでは伝統的な衣服の浴衣を自分で着こなし、地元のお祭りを楽しむ姿が見られた。
- ③ 市内他校に勤務する栄養教諭と連携し、1食分の献立作りの授業を行った。今日の授業を基に、1日3食分を通して栄養バランスの良いメニューづくりにつなげ、普段から健康的な生活を送れるよう学習を行った。また、学校給食の献立への関心も高まった。



#### (2) 総合的な学習の時間

- ① 近隣・市内の高等学校に依頼し、体験授業を実施した。学習してみたい教科を選択し、高等学校の先生から中学校より専門的な内容に踏み込んだ授業を体験することで、自身の進路選択に活かそうとしていた。
- ② 市内の「子育て支援サークル ハッピー」の方に講師を依頼し、妊婦体験学習を実施した。バッグの中に、6リットルの水と生卵の入ったビニール袋を入れ、卵を胎児に見立て前に担ぎ、卵を割らないように色々な体勢から立ち上がったたり、階段に見立て平均台を上がったりするなどの体験をした。生徒からは、足元の視野が狭くなる、仰向けで寝ることがつらい、電車等で見かけたら何かサポートをしたい等の感想があった。
- ③ 同じく「子育て支援サークル ハッピー」の支援を受け、幼児ふれ合い学習を実施した。新型コロナウイルス感染対策として、広い体育館において人が密集しないように行った。0～3歳の幼児を育てている親子にご協力いただき、子育てに関する質問に答えていただいたり、幼児を遊んだりしながら、生徒たちは終始笑顔で、幼児と触れ合い貴重な体験をさせていただきました。  
※昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、親子と生徒は別室にて、オンラインで繋いで行いました。（表紙に画像掲載）
- ④ 地域の保育園の先生を講師としてお招きし、幼児との接し方や発達段階に応じて配慮すること等、幼児の発達について授業を実施した。幼児の発達に応じて出来ることが増えていき、安全に過ごすために気をつけなければならない注意事項も増えるなど、実際の保育園での生活の様子も交えながらご指導いただきました。生徒たちが通っていた保育園の先生方からの指導とあって、お互いに当時のことを思い出し、成長を実感しながら和やかに授業が進んでいきました。



#### (3) 地域との交流

- ① 来年度本発表を控えている関東ブロック社会科教育研究協議会の授業資料となるアンケート調査も兼ねて、地域の自治会主催「グランドゴルフ大会」へ参加しました。生徒たちは、地域のグランドゴルフプレーヤーからルールや打ち方など聞きながら、36ホールをまわり交流を深めました。休憩時には、社会科のアンケートを片手に調査のお願いに走り回っていました。表彰式では、ホールインワン賞を取っている生徒もいて賞品を受け取り楽しい時間を過ごしました。
- ② 久喜市出身のマラソン選手川内さん一家が主催する「栗橋関所マラソン」のボランティアとして生徒が参加しました。開会式のサポートやチップの入ったゼッケンの回収等、運営面でのお手伝いを

行いました。地域活性化に向けた地元の催しに、積極的に参加しました。

- ③ 学区小学校への進路学習会を実施しました。来年度中学校へ進学する6年生に対し、中学校での学習や生活・部活動等について説明会を実施しました。児童からは、部活動や定期テストについての質問が多かったようです。
- ④ 地域の二重掘沿いの土手に静桜を植樹するボランティアに参加します。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの実施となります。3月の実施となるので写真は以前に行ったときのものですが、この取組は、12年前の東日本大震災の被害を風化させないということで始まった取組です。植樹だけでなく静桜の接ぎ木の作業にも地域の方々から指導を受けながら行う予定です。
- ⑤ 学校運営協議会・学校応援団と連携した環境整備を実施した。年に4～5回にわたり、校内環境整備を行っている。生徒は、親子除草や花の植え替え作業を地域の方々と共にに行った。毎年9月頃に、久喜市の建設懇話会のご厚意により無償で草刈りを行っていただいている。生徒は、地域の方々に支えられ、良い学習環境が保たれていることに感謝の気持ちを抱き、作業しているの方々にお礼の言葉を述べられるようになった。



## 4 成果と課題

### (1) 研究の成果

- ・校内で独自に「ボランティアーズ」という組織があり、所属する生徒が多くなってきている。組織に所属していなくても、校内の落ち葉掃きボランティアを募集すると多くの生徒が参加する等、奉仕の心が更に育成されてきた。
- ・地域の方々と協働して、地域行事に参加することで、地域の方々への感謝の心や地元愛に満ちた生徒が育成することができた。
- ・地域の方々も、生徒と共に活動してコミュニケーションを取ることで、やりがいや生き甲斐を感じる方もおり、地域の活性化にもつながった。

### ☆R4 学校評価生徒アンケートより【「あてはまる」の数値】

○当たり前のように過ごす生活のなかに、「感謝の心」を大切にしている。

R3：53% ⇒ R4：57%

○「ありがとう」「ありがとうございます」と、感謝の気持ちを素直に言葉にしている。

R3：56% ⇒ R4：63%

○誰に対しても、相手の気持ちを考えたやさしい言葉づかいができています。

R3：35% ⇒ R4：42%

○目上の人や地域の方々へ、ていねいな言動ができています。

R3：56% ⇒ R4：63% ※「ややあてはまる」も含めると全て90%以上

○「みんなでつくる 私の誇りある学校」を目指して、どんなことに取り組んだら良いか【自由記述】

- ・地域のゴミ拾い 地域の行事の手伝い（2名）
- ・学校はもちろん、地域のボランティアに参加する（18名）
- ・地域の方々との交流を深められること。（3名）
- ・誰かのために貢献できるよう、視野を広くすること。

### (2) 今後の課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、未だに地域の催し物が実施されないものがあり、交流する機会が減少している。また、学校で企画されていた地域の方々を講師とした学習活動が実施できていないものがある。
- ・地域の方々が高齢化に伴い、環境整備等実施に配慮しなければならない。  
（実施時期、時間帯【暑さ対策等】、作業時間等）
- ・体験学習の幅が広がるよう、新規体験学習を地域と共に開発して行く必要である。